世界のあしたが見えるまち。TSUKUBA

つくば市記者会 御中

発信日：令和６年（2024年）８月27日（火）
発信元：つくば市　政策イノベーション部　情報政策課

□取材依頼　■周知依頼　□募集告知　□その他

公共施設整備における職員及び現場関係者の業務効率化に向けた実証実験について

つくば市は、建設業などの現場業務に従事する方の生産性アップ実現に取り組むスタートアップである株式会社アルダグラム（本社：東京都港区、代表取締役：長濱光、以下：アルダグラム）と、公共施設整備に携わる職員及び現場関係者の業務効率の改善に向けた実証実験を開始します。

これは「つくばイノベーションスイッチ」の一環として、アルダグラムの提案を受けて実施するもので、本実証実験では当市の「公共施設整備課」と施設設備に関わる現場関係者における業務効率化の効果検証を実施します。詳細は別紙をご参照ください。

【実証実験名】プロジェクト管理アプリ「KANNA（カンナ）」による業務推進のデジタル化

【実証実験開始日】令和６年９月２日（月）

【実施部署】建設部　公共施設整備課

【実証実験概要】

公共施設整備課の職員及び公共施設施工に関わる全関係者に「KANNA」を導入し、タスクや施工進捗を工程表機能を用いて管理します。また、施設ごとの修繕及び建設に必要な概要や図面、現場写真、連絡内容を「KANNA」で一元管理していきます。

【想定される効果】

公共施設整備課及び現場関係者の業務フローが可視化されることで、職員が培った知見を蓄積していくことができます。これにより、各職員の業務が仕組化され、人事異動時にも対応でき、限られた時間内でスムーズな引継ぎが可能となります。

問合せ先

【イノベーションスイッチについて】
政策イノベーション部　情報政策課
担当：課長　石川　玄壱
　　課長補佐　家中　賢作
電話：029-883-1111（内線5970、5978）
Email：pln020@city.tsukuba.lg.jp

【実証実験について】
建設部　公共施設整備課
担当：課長　糸賀　健二
　　課長補佐　三井　永達
電話：029-883-1111（内線3401）
Email：ctr031@city.tsukuba.lg.jp

別紙

1、行政課題

つくば市は、人口増加が著しいため、住民サービスの業務も増加しています。この問題を解決するため、市役所内では様々なDXツールを取り入れ、職員の業務効率化を図る取り組みを行っています。

本実証実験を行う「公共施設整備課」は、市内の学校や交流センターを始めとした公共施設の修繕や新築工事の発注支援、工事のスケジュール管理や品質管理を行う監督業務などを行っています。公共施設整備課は、年間に設計業務が約80件、工事が約100件あるため、課内の業務はひっ迫傾向にあります。これらを解消するために業務の効率化を図ることが課題でした。

2、期待される効果

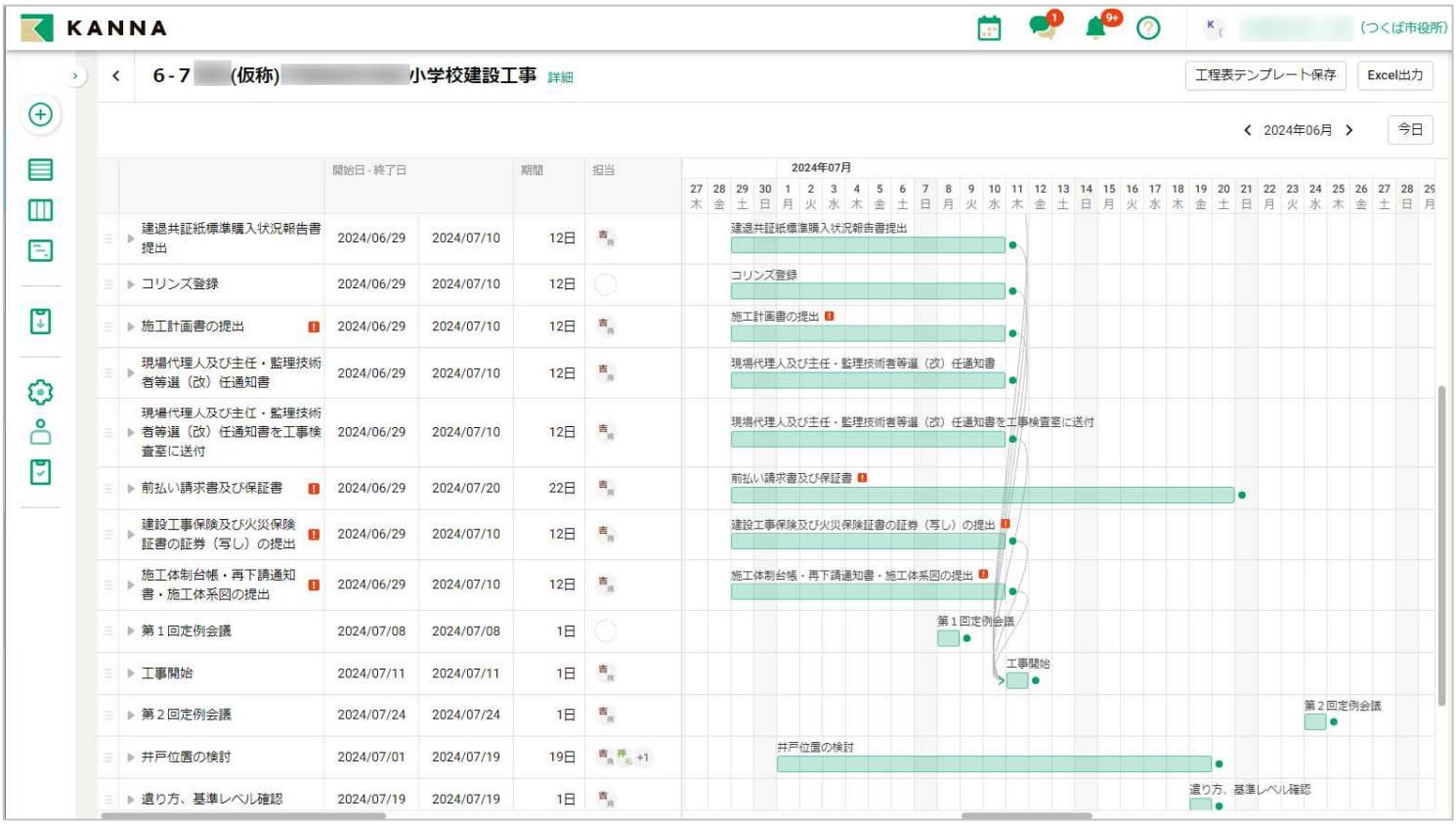
「KANNA」の工程表を活用して、施工におけるタスク管理や進捗状況を可視化するだけでなく、工程表のテンプレートを使って、業務のマニュアル化ができ、施工のタスクを一から作成する手間を省きます。

さらに、施設ごとの修繕および建設に必要な概要や図面、現場写真を「KANNA」に格納することで、これまで協力会社を含め約20人近くの関係者が、現地に集まり実施していた定例会議の時間や回数の削減が想定されます。現場での会議が回数が減ると、移動の手間や会議に向けた事前準備時間が削減され、職員は住民のためにより必要な業務に集中できるようになります。

さらに、行政の特性上、定期的な人事異動により、業務フローを仕組化することは、スムーズな引継ぎを行う上でも重要です。「KANNA」を活用すると、業務フローを可視化でき、これまで培った知見の蓄積をしていくことができます。これにより、職員の業務が仕組化され、頻繁な異動にも対応できるため、スムーズな引継ぎが可能となります。

別紙

▼つくば市で活用中の「KANNA」のパソコン画面：「工程表」を活用してタスク管理と進捗状況を可視化、テンプレートを使うことで業務をマニュアル化できる



※つくばイノベーションスイッチとは

本事業は、すでに民間では導入が進んでいる先端ICT技術が、まだ公共サービスの分野では導入が進んでいないことに着目し、それらの技術を業務効率化等に資する製品又はサービスの創出に結びつけるため、民間事業者等との共同研究を実施する公共サービス共創事業です。つくば市は、行政ではまだ導入されていない技術の試験フィールドを提供します。

株式会社アルダグラムについて

2019年創業、2020年7月にプロジェクト管理アプリ「KANNAプロジェクト」の提供を開始。2022年5月に株式会社MonotaROと資本業務提携。翌年5月、パナソニック株式会社と資本提携を締結。「KANNA」は、国内外で40,000社が利用（2024年2月現在）。日本のみならず海外にも展開しており、タイ、ベトナム、インド、スペイン、メキシコなど世界70ヵ国以上（2024年2月現在）に展開。日本語版に加え、英語版・タイ語版・スペイン語版、ベトナム語の多言語対応もしている。また、2023年11月にはKANNAシリーズ第2弾としてデジタル帳票アプリ「KANNAレポート」の提供も開始。

【社名】株式会社アルダグラム
【所在地】東京都港区芝浦1丁目1-1 浜松町ビルディング11階
【海外拠点】タイ・バンコク
【代表者】長濱 光
【設立】2019年5月8日
【事業内容】世界中のノンデスクワーク業界における現場の生産性アップを実現するアプリケーションの開発提供
【URL】（日本語・英語・タイ語）https://aldagram.com/